

N-アセチルニューラミン酸ガラクトシルグルコシルセラミド β -1,4-N-アセチルガラクトサミン転移酵素

Cat. No. EXWM-2390

Lot. No. (See product label)

はじめに

明 Mn²⁺を必要とします。シアル酸残基を含む物質のみが受容体として機能できます。テストされた中で、牛フェチュインが最も優れた受容体です。

別名 ウリジン二リン酸アセチルガラクトサミン-アセチルニューラミン酸(α 2 $\rightarrow$ 3)ガラクトシル(β 1 $\rightarrow$ 4)グルコシル β 1 $\rightarrow$ 4-アセチルガラクトサミン転移酵素; UDP-N-アセチル-D-ガラクトサミン:N-アセチルニューラミン酸-2,3- α -D-ガラクトシル-1,4- β -D-グルコシルセラミド β -1,4-N-アセチルガラクトサミン転移酵素; UDP-N-アセチル-D-ガラクトサミン:N-アセチルニューラミン酸-(2 $\rightarrow$ 3)- α -D-ガラクトシル-(1 $\rightarrow$ 4)- β -D-グルコシル(1 $\leftrightarrow$ 1)セラミド 4- β -N-アセチルガラクトサミン転移酵素; UDP-N-アセチル-D-ガラクトサミン:N-アセチルニューラミン酸-(2 $\rightarrow$ 3)- α -D-ガラクトシル-(1 $\rightarrow$ 4)- β -D-グルコシル-(1 $\leftrightarrow$ 1)-セラミド 4- β -N-アセチルガラクトサミン転移酵素

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.4.1.165

CAS登録番号 109136-50-7

反応 UDP-N-アセチル- α -D-ガラクトサミン + α -N-アセチルニューラミン-(2 $\rightarrow$ 3)- β -D-ガラクトシル-(1 $\rightarrow$ 4)- β -D-グルコシル-(1 $\leftrightarrow$ 1)-セラミド = UDP + N-アセチル- β -D-ガラクトサミニル-(1 $\rightarrow$ 4)-[α -N-アセチルニューラミニル-(2 $\rightarrow$ 3)]- β -D-ガラクトシル-(1 $\rightarrow$ 4)- β -D-グルコシル-(1 $\leftrightarrow$ 1)-セラミド

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。